

【四條畷市】

校務DX計画

1. 「GIGAスクールⅡビジョン2025」及び「教育DX企画書」の作成

～R6年3月 教職員の業務分析を実施

～R6年4月 上記に基づき「業務分析報告書」を作成

～R6年7月 「GIGAスクールⅡビジョン2025」を作成し、教職員のICTを活用した「働き方改革」を宣言

～R7年3月 「働き方改革」や「データ利活用」をシステム化するための「教育DX企画書」と

「教育情報セキュリティ対策基準」を作成

2. 上記をベースに下記の事業を実施

(1) グループウェアの活用（～R8年3月）

全校にグループウェアを新規導入し、グループウェアが持つ機能（スケジューラー、CHAT、掲示板、ドライブ、アンケート他）を最大限活用し、非定型業務の電子化を図り、教職員の間接業務の大幅な効率化をめざす。

(2) 学習系/校務系ネットワークの統合（～R9年3月）

境界分離型のネットワークからアクセス制御強化型のネットワークへ移行することで、インターネットの利便性を高める。

(3) ロケーションフリー（～R9年3月）

統合校務支援システムのクラウド化（SaaS）やアクセス制御強化型のセキュリティを導入することで教職員のライフスタイルに応じた柔軟な働き方を実現する。

(4) 学習eポータルを導入（～R8年3月）

新たに学習eポータルを導入し、学習指導用アプリケーションへのシングルサインオンを実現し、教職員の利便性を上げると共に、校務、教務におけるデータ活用と事務負担の軽減（教員の調査への回答等）を目的としたダッシュボード機能の基盤を構築する。

(5) 文書業務の電子化（～R8年3月）

電子決裁や照会回答のワークフロー化により、提出状況やスケジュール管理、決裁を容易にする。
スタートとして、クラウド型の勤怠管理システムを導入する。